

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 3月31日
受領株主確定日
中間配当金 9月30日
受領株主確定日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所 東京証券取引所市場第一部
公告方法 当社HP (<http://www.uchiyama-gr.jp>) での電子公告により行う。ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(注) 1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒802-0044
北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号
内山第20ビル1F
TEL : 093-551-0002 (代表)
お問い合わせアドレス : <http://www.uchiyama-gr.jp/cgi/form/form.cgi>



株主・投資家の皆様へ

UCHIYAMA REPORT

ウチヤマ通信 | 第9期 2014年4月1日から
2015年3月31日まで



証券コード 6059

事業の全国化による 売上拡大を維持しながら、 利益の最大化を 図ってまいります。



代表取締役社長
内山 文治

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。
当期は、お陰さまをもちまして2014年9月に東京証券取引所市場第1部指定となり、非常に大きな節目を迎えることができました。これを契機に、当社グループで働くすべての役員は、自覚も新たに、これまで積み重ねてまいりました信頼と自信をもって、お客様・入居者様第一の姿勢の更なる徹底に邁進しております。本業に徹することが企業価値最大化、そして株主の皆様のご期待にお応えしていくことにつながるものと確信しております。
株主の皆様には、引き続きご支援のほどお願い申し上げます。

当期は、増収基調を確保したものの、先行投資や外部環境要因などにより減益となりました。

当期の連結業績は、売上高が前期比8.6%の増収となる一方で、営業利益については同32.4%の減益となりました。

当社グループの増収は、株式上市以前から続いており5期連続となります。当期においても、介護事業で3カ所4事業所の施設を開設し、カラオケ事業で10店舗を出店、飲食事業で国内2店舗・海外1店舗を出店するなど、施設・店舗が順調に増加しました。

一方、遺憾ながら営業減益となった主な要因は、介護事業において、当期の新規開所施設に加え、前下期開所施設の人件費や施設維持費等の固定費が費用先行となったこと、カラオケ事業において、消費増税や天候不順等が集客面でマイナスの影響を及ぼしたことなどです。

当社グループでは常に利益の最大化に努めておりますが、今後、これを更に徹底すると同時に、収益力強化に向けた様々な施策を企画・実行し、利益改善に取り組んでまいります。

介護事業では、「特定施設」を重点領域と位置づけるとともに、新たなサービス開発に取り組んでまいります。

全国の自治体では高齢化に対応して「特定施設」（介護付き有料老人ホーム等）の充実化が進められており、これらは公募による事業者の選定が行われています。当社は、こうした全国の公募案件に積極的に応募し、選定率は約6割と非常に高水準の実績を誇っております。自治体からの要請で立ち上げた物件も増えており、当社は多大なる信頼をいただいております。今後も、当社の経営資源をこうした公募案件を中心とした施設開設に傾注していくことで、全国の自治体や地域の方々のお役に立ちたいと考えております。

当社施設の特徴は、コスト面では、高いオペレーション効率を追求することで利用者負担の少ない低料金の施設づくりを行っていること、そして、運営面では、入所者様が「生きがい」を感じられるような「一人ひとりの入所者様が主役」の施設運営を行っていることです。そうした中、現在注力しているのが、産学連携による新たなサービスの開発です。九州歯

科大学・北九州産業学術推進機構との連携により、口腔ケア分野における高質なサービス提供につながる新技術の創出や人材の育成、九州大学・北九州産業学術推進機構・生き方のデザイン研究所との連携により、弊社施設を起点とした高齢者に関わる革新的なイノベーション創出を目指して、積極的な取り組みを行っております。更には、「看取り介護」も視野に入れながら、新しい介護施設の在り方を模索していきたいと考えております。

カラオケ事業では集客力の向上、飲食事業では海外市場も見据えた出店戦略を推し進めてまいります。

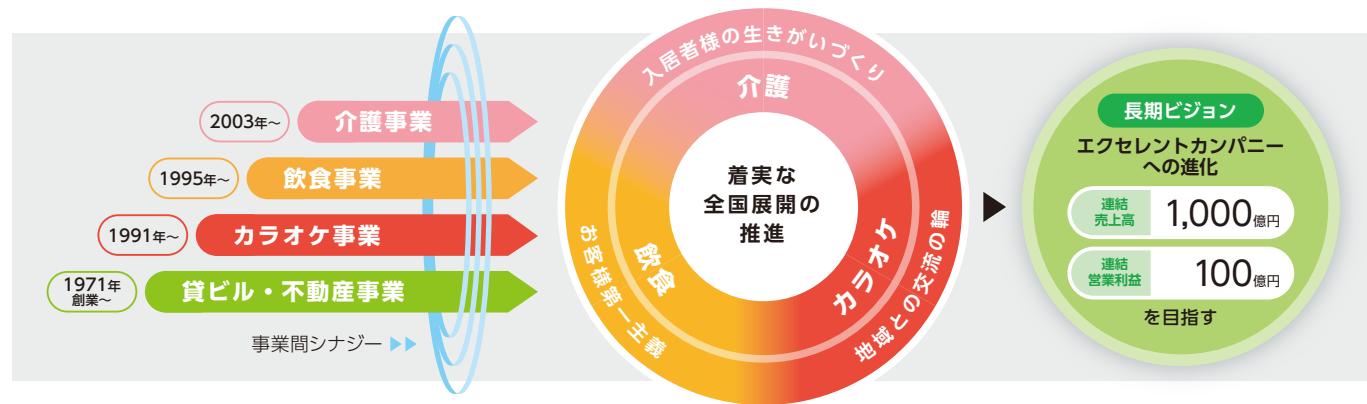
カラオケ事業は、2015年4月に100店舗を達成する規模まで成長してまいりました。今後も、首都圏攻略を進めながらドミナントの拡大を推し進めると同時に、「さわやかゴールドメンバーカード」、「スマホ向けアプリ会員」（新たにスマートフォン向けのアプリを開始）など様々な特典を活用したリピート客の増加に努め、集客力の強化を図ってまいります。

飲食事業では、昨年、国内においてはカラオケ事業とのシナジーを追求した複合出店、海外においてはタイに海外第1号店を出店するなど、新たなチャレンジを行っております。海外展開については、2015年3月にタイに第2号店を出店しており、今後も飲食事業に絞った海外展開の推進を行ってまいります。

エクセレントカンパニーへの進化を目指して、今後も積極的な経営を推進してまいります。

当社グループは「幼青老の共生」と「日本一の接遇とオペレーション」をスローガンに掲げ、その実践に取り組んでまいりました。全国のお客様や入居者様・そのご家族の笑顔のために、私どもの施設・店舗のスタッフは、みな笑顔をもってサービスの提供にあたってまいります。

こうした姿勢を変わることなく追求し続けることで、当社グループは、各事業で業界シェア5位以内の事業規模を持ち、広く地域社会の皆様から信頼されるエクセレントカンパニーへの進化を目指してまいります。



飲食事業において タイへ 海外初進出

当期は、主力の介護事業とカラオケ事業が増収となり、連結売上高は前期比8.6%増の236億28百万円となりました。

売上構成比では、介護事業49.5%、カラオケ事業37.4%となり、この2事業で売上をほぼ2分しております。飲食事業は、現在、九州を中心に多業態展開をしながら、当期はタイに1店舗出店し、海外進出を果たしました。売上構成比は8.4%の状況にあります。

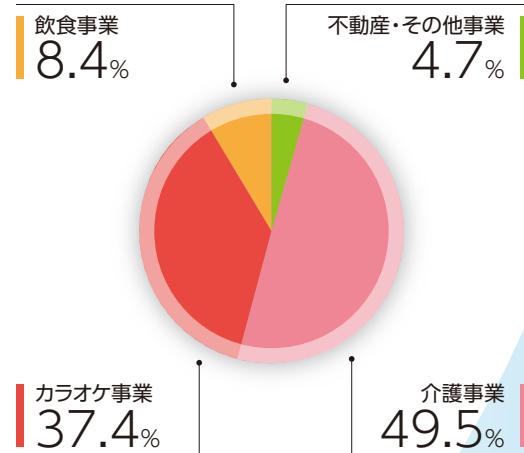
利益面では、連結営業利益は前期比32.4%減の14億32百万円と、減益となりました。

次期2016年3月期の連結業績は、売上高256億70百万円(当期比8.6%増)、営業利益16億73百万円(同16.8%増)を予想しております。

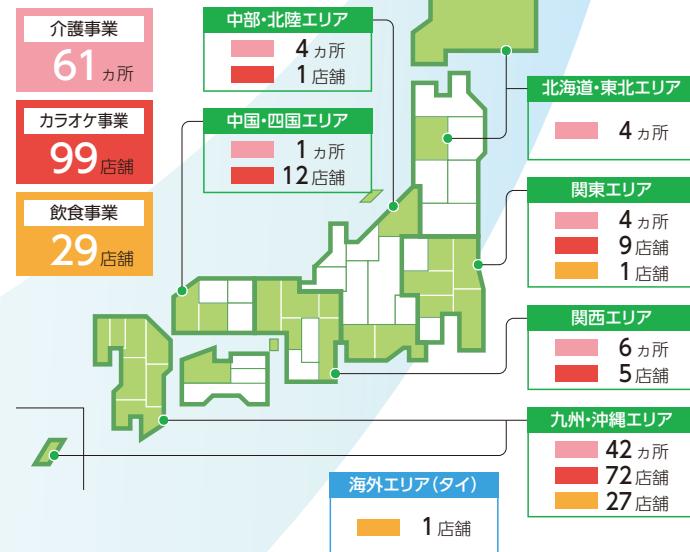
2015年3月期の連結業績



売上構成比 (2015年3月期)



主力3事業の施設・店舗の展開状況 (2015年3月31日現在)



Nursing Care

介護事業

株式会社 さわやか倶楽部

さわやか 室蘭館

Topics

兵庫県に初進出 拠点範囲拡大へ

当期は介護付有料老人ホームが3カ所加わりました。初進出となる兵庫県の「さわやか リバーサイド西脇」は、介護付有料老人ホーム68床とショートステイ12床の合計80床の併設型施設。また、福岡県に「さわやか行橋式番館」60床の併設型、そして北海道に「さわやか室蘭館」110床の併設型を開設しました。
地域の医療機関や公共の施設との連携により万全のサポート体制を敷いております。

■ 売上高

11,688

百万円
(前期比13.3%増)

■ セグメント利益

914

百万円
(前期比7.9%減)

兵庫県に介護付有料老人ホームを初進出させ、拠点範囲の拡大を図るとともに、既存施設では地域との連携強化に努めました。

当期は、介護付有料老人ホーム3カ所開設に加え、ショートステイ3事業所、デイサービスセンター1事業所を新規開設しました。また、兵庫県に介護付有料老人ホームを初進出しており、拠点範囲の拡大も図っております。既存施設では、空室を減らし、安定した入居を維持するため、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進しました。これらの結果、介護事業の売上高は前期比13.3%増の116億88百万円となりました。

売上高の推移(百万円)

期	売上高(百万円)
2014/3	10,318
2015/3	11,688

介護付有料老人ホーム「さわやか リバーサイド西脇」(兵庫)

介護付有料老人ホーム「さわやか 行橋式番館」(福岡)



Karaoke
カラオケ事業

売上高 **8,825** 百万円 (前期比1.3%増)

セグメント利益 **1,326** 百万円 (前期比24.6%減)

新規出店による店舗数の拡大に加え、新たにスマートフォン向けのアプリを開始し、リピート客の増加に努めました。

当期は、全国で10店舗を新規出店しました。このうち神奈川県と静岡県に初進出し、拠点範囲の拡大を行いました。また、新たにスマートフォン向けのアプリを開始し、モバイル会員の勧誘を行うなどしてリピート客の増加に努めましたが、集客面では消費税増税や天候不順等によるマイナスの影響が見られました。これらの結果、カラオケ事業の売上高は前期比1.3%増の88億25百万円となりました。

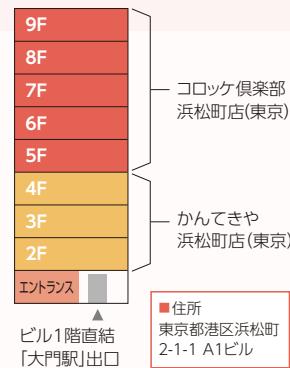


Topics

東京都内6店舗となる 浜松町店オープン

2015年3月に出店した東京都内6店舗目となるカラオケ店舗「コロケ倶楽部浜松町店」は、新たな出店形態にチャレンジしています。同店舗は9階建ての新築ビルを1棟まるごと賃貸することで(1階はエントランス)、上層5階部分をカラオケ店舗、下層3階部分を居酒屋店舗としました。同時出店を行った居酒屋は「かんてきや」業態で、東京初出店となりました。

このビルは都営地下鉄「大門駅」の真上に立つ新築ビルであり、またJR浜松町駅や世界貿易センタービルからは徒歩で3分程度と交通アクセスの良い立地にあります。



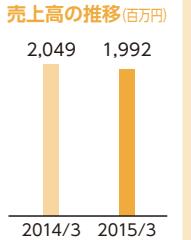
Food Service

飲食事業



東京とタイに 初進出しました。

東京に1店舗(初進出)、福岡に1店舗、海外ではタイに1店舗(初進出) 出店しました。既存店舗においては、消費税増税や天候不順等の影響により、集客が減少傾向にあるため、タイムサービスの実施による集客の増加を図りました。これらの結果、飲食事業の売上高は前期比2.8%減の19億92百万円となりました。

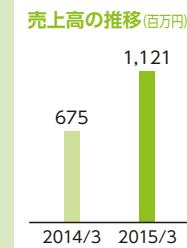


■ 売上高 **1,992** 百万円 (前期比2.8%減)

■ セグメント利益 **117** 百万円 (前期比43.0%減)

不動産事業が堅調に 推移しました。

不動産事業では物件売買及び賃貸の仲介業務等を中心に行い、また、ホテル事業では円安の影響による国内旅行の活性化に伴う需要の獲得を目指し、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。これらの結果、不動産・その他の売上高は前期比66.1%増の11億21百万円となりました。



■ 売上高 **1,121** 百万円 (前期比66.1%増)

■ セグメント利益 **38** 百万円 (前期比45.3%減)

Real Estate / Other

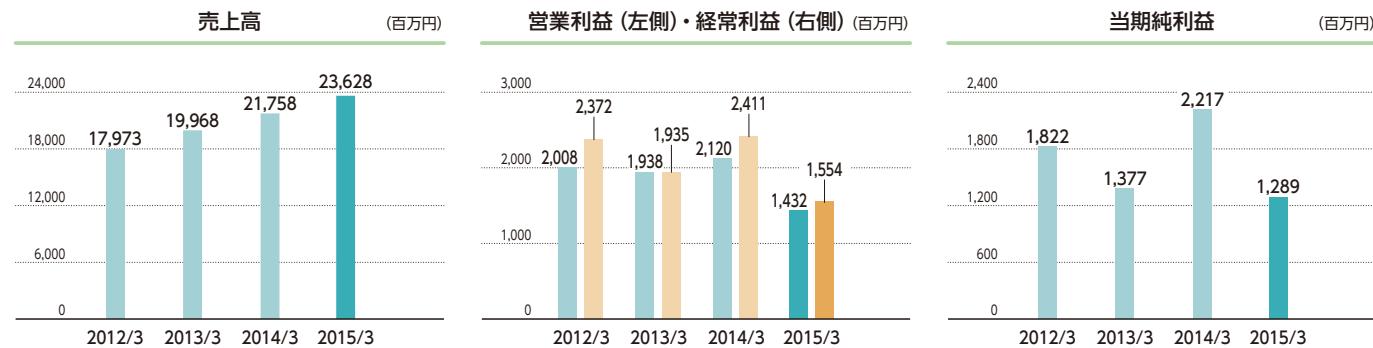
不動産事業・その他



Consolidated Financial Highlights

2015年3月期 連結決算のご報告

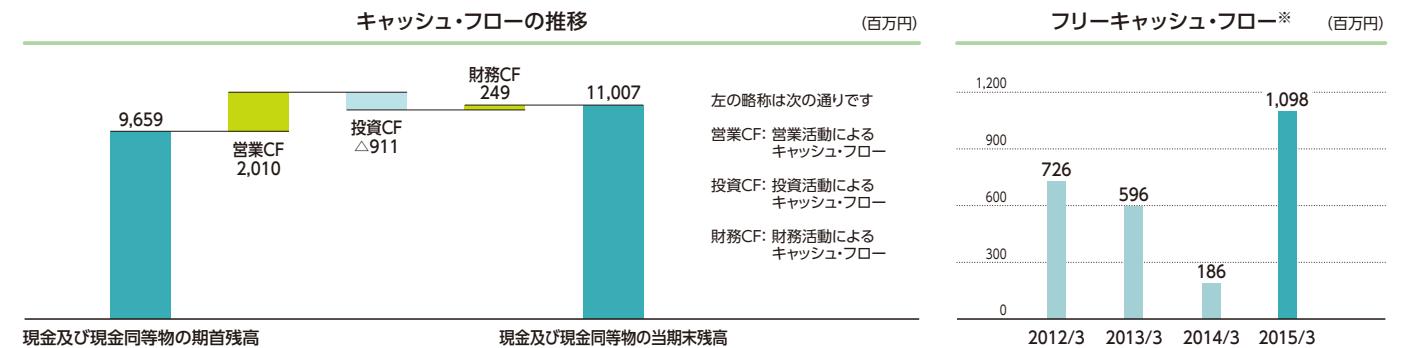
収益の状況



円安・株高傾向が継続したことに加え、雇用状況や企業の業績にも改善が見られたことなどから緩やかな回復基調となりました。一方で、消費税増税や円安に伴う輸入原材料の価格上昇などの影響により、個人消費の力強さは回復していない様子がかがえ、依然先行きが不透明な状態が続いています。このような経営環境下で、当社グループは各セグメントにおける事業戦略に基

づく営業活動等を積極的に推し進めました。また、各事業間において、シナジー効果を向上させる取り組みを行い、企業グループとしての利益の最大化を図りました。この結果、当期の連結業績は、売上高236億28百万円(前期比8.6%増)、営業利益14億32百万円(同32.4%減)、経常利益15億54百万円(同35.5%減)、当期純利益12億89百万円(同41.8%減)となりました。

キャッシュ・フローの状況

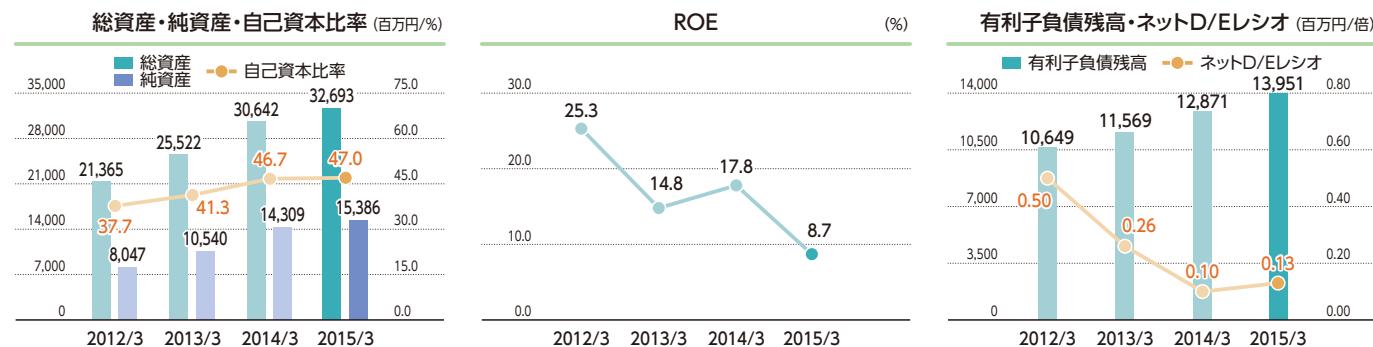


税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上などにより営業CFが20億10百万円の収入、有形固定資産の取得(新規の施設・店舗)や定期預金の預入、敷金及び保証金の差入などにより投資CFが9億11百万円の支出、長期借入金や割賦債務の返済、配当金の支払の一方で、長期借入れなどによる

収入があり財務CFが2億49百万円の収入となりました。この結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ13億48百万円増の110億7百万円となりました。

※フリーキャッシュ・フロー=営業CF+投資CF

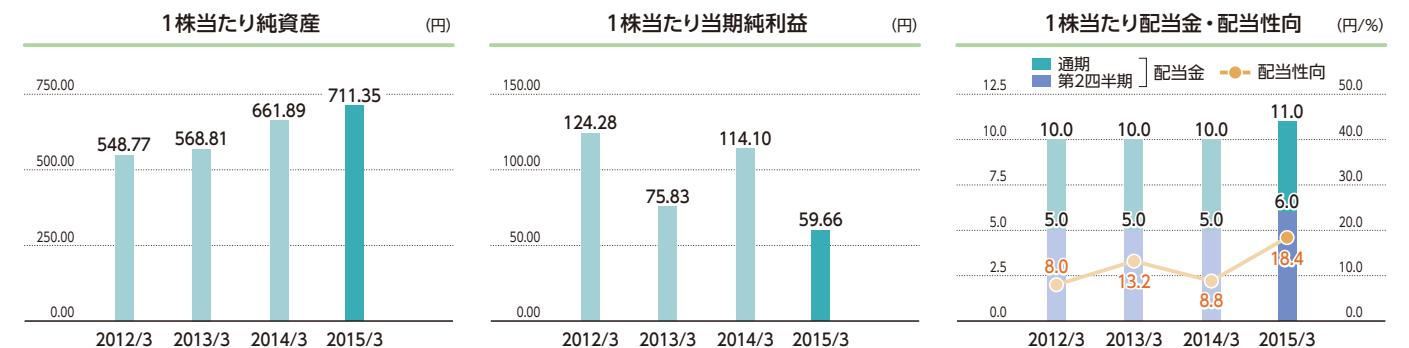
財務状態



総資産は、現金及び預金、新規の施設及び店舗の開設に伴う建物及び構築物、土地、敷金及び保証金などの増加により、前期末比20億50百万円増の326億93百万円となりました。純資産は、当期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより同10億76百万円増の153億86百万円となりました。

また、ROEは当期純利益の減少により同9.1ポイント低下し、8.7%となりました。有利子負債残高は、同10億80百万円増の139億51百万円、ネットD/Eレシオは前期末比0.03ポイント低下し0.13倍となりました。

1株当たり指標と株主の皆様への利益還元方針



当社では、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけ、安定配当の継続に努めております。当社は、2014年1月1日に1:4の株式分割を行っており、遡及修正後の金額で比較しますと、当期末の配当金は、前年同期の実績と同様の1株当たり5円にて実施させていただきました。

これにより、当第2四半期の配当金6円を合わせて年間配当金は11円となりました(前期比1株当たり1円増配)。

次期(2016年3月期)の配当金は、年間配当10円(第2四半期5円、期末5円)を計画しております。

(注) 上記の1株当たり指標は、2011年12月7日付けの株式分割(1:5)及び2014年1月1日付けの株式分割(1:4)に伴う遡及修正値。

Shareholder's Information

株主様向け情報 (2015年3月31日現在)

株式の状況

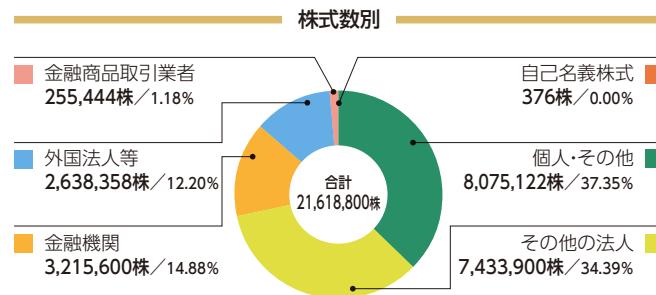
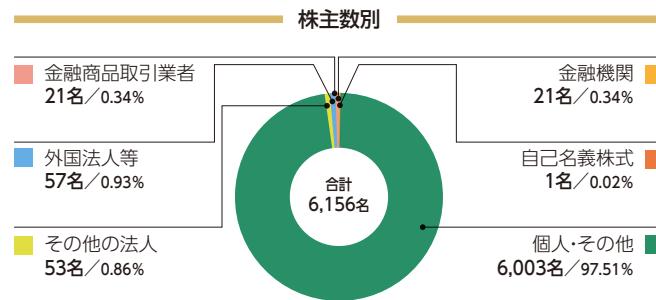
発行可能株式総数	58,400,000株
発行済株式総数	21,618,800株
株主数	6,156名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ウチヤマフューチャー	6,400,000	29.60
内山 文治	2,210,420	10.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,510,400	6.99
内山 孝子	866,420	4.01
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/ NV 10	732,900	3.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	703,600	3.25
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	595,500	2.75
ウチヤマホールディングス従業員持株会	497,900	2.30
株式会社エクシング	304,800	1.41
株式会社第一興商	280,000	1.30

(注)持株比率は、自己株式(376株)を控除して計算しております。

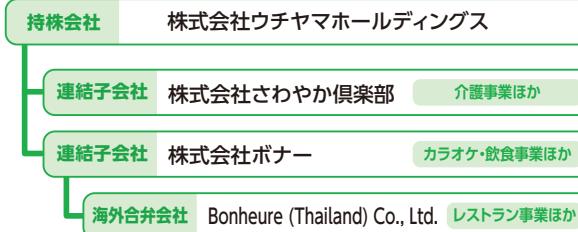
株式分布状況



会社概要

商号	株式会社ウチヤマホールディングス
設立	2006(平成18)年10月2日
代表者	代表取締役社長 内山 文治
資本金	22億2,293万円
従業員数	連結 4,078名(パート・アルバイトも含む)
事業内容	持株会社としてグループ会社の経営管理 グループ全体の経営戦略の立案
連結子会社	● 株式会社さわやか倶楽部 ● 株式会社ボナー
上場取引所 (証券コード)	東京証券取引所市場第1部 (6059)

グループ経営体制



役員 (2015年6月26日現在)

代表取締役社長	内山 文治	社外取締役	矢田 逸夫
専務取締役	生嶋 伸一	社外取締役	神尾 榮一
専務取締役	竹村 義明	監査役	嶋井 太郎
専務取締役	歌野 繁美	社外監査役	住川 守
専務取締役	山本 武博	社外監査役	岸本 進一郎
取締役	吉岡 信之		
取締役	川村 謙二		
取締役	二村 浩司		

ホームページのご紹介

トップページ

<http://www.uchiyama-gr.jp/index.html>



IR情報

<http://www.uchiyama-gr.jp/ir/index.html>



株主優待制度のご案内

当社は株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株主への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、さらには当社グループへのご理解をより深めていただくべく、株主優待制度を導入しております。より全国の株主の皆様に広くご利用

いただくべく、お米券をご進呈させていただきます。
詳細につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ご優待内容

『お米券』をご進呈



■ 対象となる株主

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された4単元(400株)以上を保有されている株主様を対象としています。

■ 優待の内容

お米券5kg分(1kg券×5枚)

■ 贈呈期間

毎年6月の当社定時株主総会終了後、送付する決議ご通知に同封いたします。